

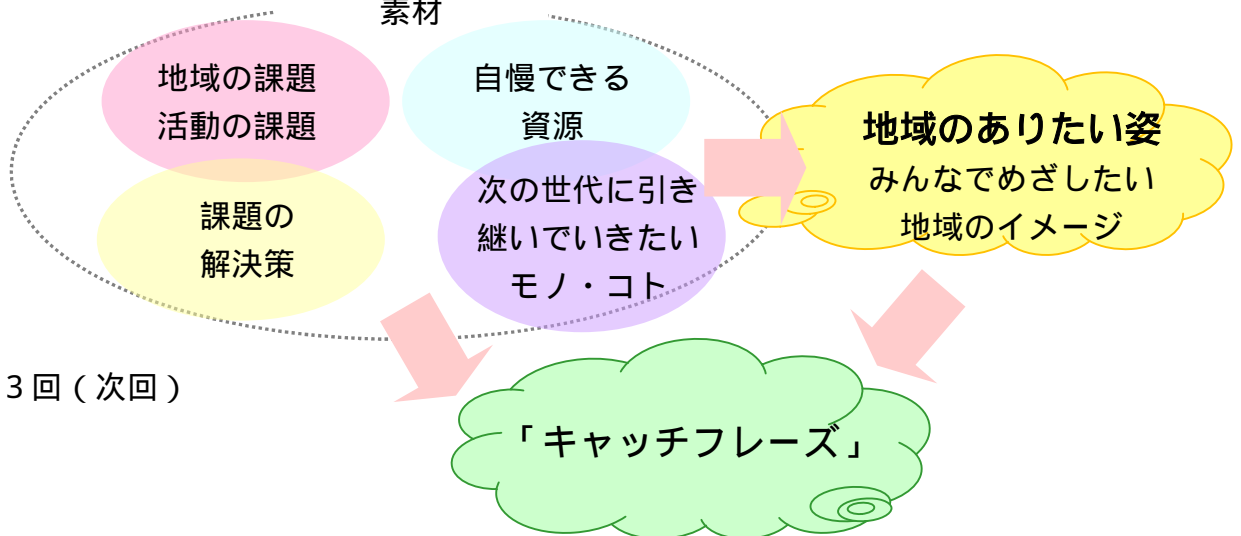
第2回 地域別懇談会

目的

地域にある場所や風景、モノ、コト、人などの資源を整理します。これまで出してきた、地域の課題や解決策も考慮しながら、私たちがより幸せに暮らすことのできる地域のイメージとして、地域の「ありたい姿」を考えます。

第2回(今回)

ありたい姿の
素材



第3回(次回)

進め方(1時間50分)

テーブルの進行役、発表役を決めます

今日のワークの参考にするため、地域概要書の一部を振り返ります

ワークの説明をします

《ワークの流れ》

前回出した地域の課題、解決策を補強し、整理します(15分)

地域の資源などを出し、地域でみんながより幸せに暮らすために、資源を使ってできること(課題解決など)を考えます(25分)

地域で、「どんな暮らし」がしたいのかを出し合い、「地域のありたい姿(みんなめざしたい地域のイメージ)」を考えます(60分)

班で話したことを発表します(10分)

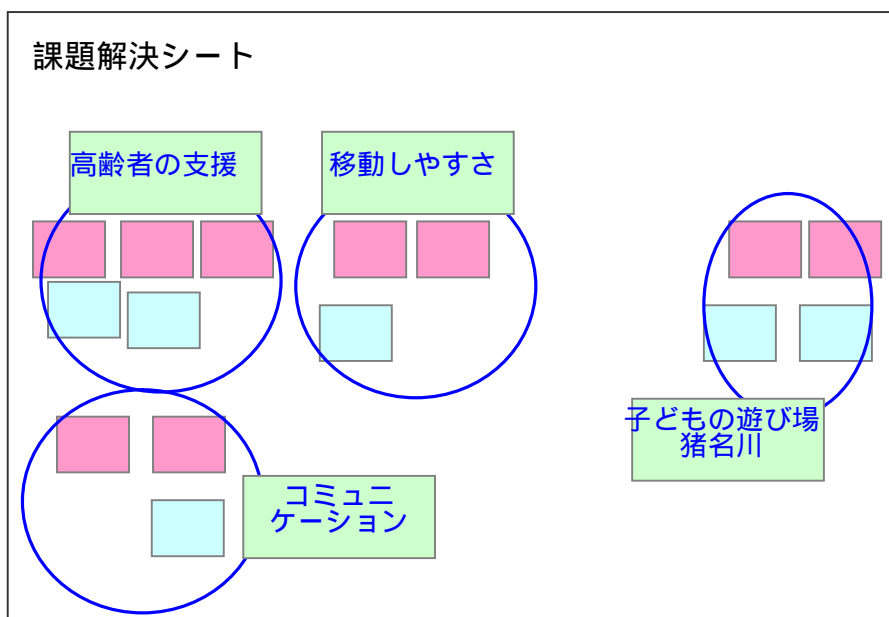
1 課題解決シートを整理して、名前（キーワード）をつけます。

15分

- ・振り返りを兼ねて、これまでに出した意見の整理をします。
- ・気が付いたこと、補足したいことがあれば、紙に書いて貼ってください。

整理方法

- ・似ていること、特徴、共通のイメージなどで整理し、グループをつくります。
- ・グループの内容がよくわかるキーワードを考え、緑色の紙に書いて貼ります。グループをペンで囲みます。

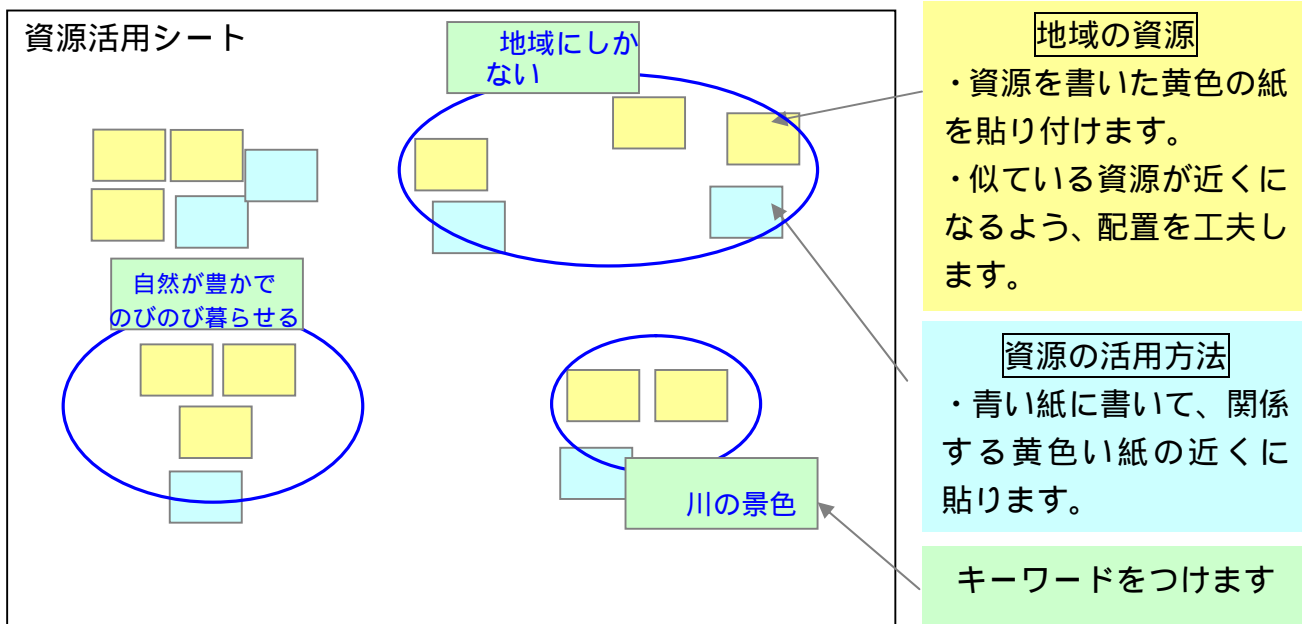


- ・キーワードを考えます。
- ・地域の特徴がよくわかるようなキーワードにします。

2 地域の資源などを出し、地域でみんながより幸せに暮らすために、資源を使ってできること（課題解決など）を考えます。

25分

- ・地域の資源などを、黄色い紙に書いてシートに貼ります。
- ・次に、資源をつかってできそうなこと(アイデア)を、青い紙に書いて貼ります。
- ・グループをつくり、キーワードを考えます。



- 【資源の例】**
- ・好きな風景
 - ・お気に入りの場所
 - ・自慢に思う特産品
 - ・他の地域にはないようなこと
 - ・ほっとする日常の光景
 - ・自慢したくなる祭り
 - ・地域出身のすごい人
 - ・自慢の活動

- 【資源活用の例】**
- (祭りが盛ん)
マンションの住民となかよくなるきっかけとして、実行委員会に参加してもらう。
 - (川の景色がすき)
地域で清掃活動をして、安らげる場所として守っていく。
 - (都市に近く、農業が盛ん)
使われていない農地で、野菜や花の育て方を教える「農業大学」を開く。
 - (駅があり便利なので若者が多い)
駅の近くに子どもを預かる保育所を開設して、働きやすい環境をつくる。

3 地域で、「どんな暮らし」がしたいのかを出し合い、「地域のありたい姿」を考えます。

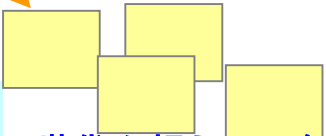

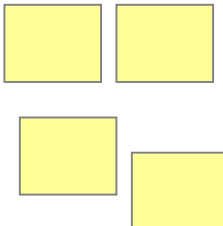
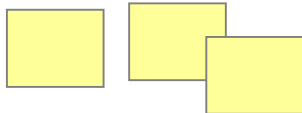
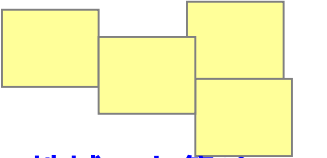
60分

- ・「どんな暮らしがしたいのか(=私がめざしたい暮らし)」を考えて、キーワードを黄色い紙に書きます。
- ・「ありたい姿シート」の5つの箱の中に、似ているものがグループになるように貼ります。
- ・テーマごとに、いいなと思える言葉をまとめて、「ありたい姿(=みんなでめざしたい地域のイメージ)」にしましょう。

紙に書くヒント

- ・この地域に住んでいてよかったな、と思うのは、どういう時ですか？
- ・誰かに話したいな、と思う地域のコトはどんなコトですか？
- ・課題として出した紙、資源として出した紙も参考にしてみてください。

ありたい姿シート

<p>テーマ(世代を超えた交流)</p>  <p>世代を超えて元気に走り回るまち</p>	<p>テーマ(豊かな自然)</p>  <p>川にホタルが飛び交い、ゆったりできるまち</p>	<p>そのほかの意見</p> 
<p>テーマ(子育てしやすい)</p>  <p>子どもが安全に遊べる、地域で見守るまち</p>	<p>テーマ(地域のつながり)</p>  <p>地域のお祭りでみんなが仲良し、伝統を大切にするまち</p>	

ありたい姿とは

- ・こんな地域に住みたい、こんな地域にしていきたい、という「みんなでめざしたい地域のイメージ」のことです。

4 班で話したことを、全体で発表します。

10分